

前立腺肥大症の症状は?



1 おしっこをした後もまだ残っている感じがする

2 おしっこをした後、2時間以内にもう一度トイレに行く

3 途中でおしっこが途切れる

4 おしっこを我慢するのがつらい

5 おしっこの勢いが弱くなった

6 お腹に力を入れないと排尿できない

7 夜中に何度もトイレに起きる

治療法は?



薬物療法を中心にいきますが、症状が進行した場合には外科的治療を行います。悪化すると、尿閉(おしっこが出なくなる)を起こすことがありますので、早めに治療することが大切です。

◆薬物療法

- **α_1 遮断薬**
過剰に収縮した前立腺や尿道の筋肉の緊張を緩める薬です。
- **5 α 還元酵素阻害薬**
男性ホルモン、テストステロンは前立腺でジヒドロテストステロンに変換され、この作用により前立腺が肥大します。5 α 還元酵素阻害薬は、この変換を抑えることで、前立腺を小さくする薬です。
- **抗男性ホルモン剤**
精巣で男性ホルモンが作られるのを抑えることで、前立腺を小さくする薬です。
- **PDE5阻害薬**
膀胱頸部、尿道、前立腺の筋肉を緩めることにより、尿の通りを改善する薬です。

キョーリン製薬

改訂年月: 2016.9
ICUT 0002

泌尿器疾患 シリーズ 2

前立腺肥大症について

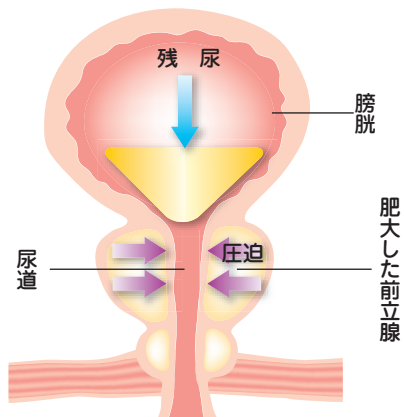
監修: 群馬大学大学院医学系研究科
泌尿器病態学 教授 鈴木 和浩 先生



前立腺は、尿道の周りを囲む男性に特有の臓器です。前立腺肥大症は、加齢とともに肥大した前立腺が尿道を圧迫し、排尿障害を起こす病気です。進行すると排尿困難や残尿をきたすこともあります。

食生活の欧米化とともに患者数が急増しており、2002年の患者調査では約40万人の男性が前立腺肥大症に罹っているといわれています。

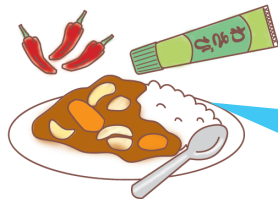
前立腺肥大症とは?



前立腺肥大症は、肥大した前立腺が尿道を圧迫して、排尿障害を起こす病気です。適切な治療を受けることで症状は改善します。早めに先生に相談しましょう。

日常生活で気をつけることは?

お酒を飲み過ぎないようにしましょう。



刺激物を食べ過ぎないようにしましょう。

適度に水分を補給しましょう。



(ただし、寝る前に水分を摂り過ぎない)

便秘をしないようにしましょう。



トイレを我慢しないようにしましょう。

からだを冷やさず、ゆっくり入浴しましょう。

